

平成29年5月30日

**● 漁況情報**

- 湘南地区では、こどもの日の5月5日から、イワシ類の子供（稚仔魚）であるしらすが見え始め、5月中旬にかけて、良い日は1隻当り100~200kgの漁がありました。3月11日の解禁以降、漁が不安定な状態が続いていたので、まとまった漁に浜は活気づき、生産者は湘南しらす製品の加工・直売に追われています。



湘南しらす加工風景

**● 浜の話題**

- 大磯二宮漁協所属 春一丸さんは、小田原の加工業者とタイアップして、しらすが入った加工品「湘南しらす ふんわり揚」を製品化しました。本製品には、春一丸さんが漁獲したしらすのちりめんが使われており、かながわブランド「湘南しらす」を使った新製品として、5月1日に発売されました。しらすの風味が活かした練り物製品に仕上がっているそうです。



湘南しらすを使った新製品「湘南しらす ふんわり揚」

- 5月2日、横浜市漁協柴支所で、齊田・小山指導漁業士及びアナゴ筒漁や小型底びき網漁を営む若手漁業者が、アカモク増殖試験を実施しました。当日は、柴地先海域で種子を持つアカモクの雌株を採取して、アカモクが生えていない海底が岩の海域に移植しました。移植した海域では、アカモクが種子を落とし、来年3月にはアカモクの繁殖が期待されます。



種子を持つアカモクの雌性生殖器



アカモク増殖試験の様子

- 5月2日、城ヶ島漁協は今年2回目となるヒジキの集荷を行いました。城ヶ島漁協では集荷前に役員がヒジキの品質を検査しており、城ヶ島のヒジキは品質が良いと評判です。今年1回目の入札では高値で取引されたため、漁業者は2回目の入札にも期待しています。



集荷されたヒジキ

- 5月5日、上宮田漁協は組合員の健勝と操業の安全、大漁を祈念し、漁港に約50体の鯉のぼりを飾りました。綺麗に飾りつけられており、一般の方も写真を撮りに訪れていました。



飾りつけられた鯉のぼり

- 5月9日、横浜市漁協本牧支所の若手漁業者が取り組んでいるトリガイ養殖試験の管理作業が行われました。12月～3月に採捕した種苗を漁港内に吊るした籠で養殖しており、よく成長

していました。5月30日までに取り上げて、測定する予定です。

- 5月9日から13日まで、（一社）日本釣用品工業会は、大磯二宮漁協の要望を受けて、「つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業」の一環として、大磯港水中クリーンアップ活動作業を実施しました。期間中、プロダイバー4名が、潜水作業によって、港内の一般ごみ等を回収しました。漁業関係者は港内で潜ることは滅多にないので、「とてもありがたい事業だ。」と話していました。



大磯港水中クリーンアップ活動作業の様子

- 5月9日、鎌倉漁協でしらす協議会役員会が開催されました。当日は、6月13日から14日にかけて予定している静岡県から愛知県方面の視察内容について協議し、焼津漁具センターやカツオ・マグロの加工について石原水産マリンステーションを視察することになりました。また、当協議会から県水産技術センターに要望した「しらすの沖合分布調査」についての要試験研究問題提案に対する対応について、舩木研究員より説明を行いました。



要試験研究問題提案に対する対応についての説明の様子



- 5月10日、小田原市漁協所属 藤八丸 鈴木青年漁業士と、小田原地先の人工リーフのアカモク繁殖状況調査を実施しました。人工リーフには、1 km以上に渡ってモク類が繁殖していましたが、その多くがマメタワラモクで、アカモクは人工リーフで西側に繁殖が確認されました。当日は、アカモクを収穫して、アカモクを使った練り物製品を開発している地元加工業者に提供しました。また、繁殖量が多いマメタワラモクについてもサンプルを提供し、製品化について検討してもらおうそうです。



人工リーフの浅瀬に帯状につづくモク類の繁殖



アカモク収穫の様子

- 5月11日、(公財)相模湾水産振興事業団は腰越漁協の協力のもと、同漁協地先海面にサザエ種苗2万5千個を放流しました。放流には腰越小学校5年生の児童の皆さんも参加し、栽培漁業の大切さを学ぶよい機会となりました。
- 5月12日、小田原魚市場に巨大なアオリイカ(胴体長50cm以上)が水揚げされました。今年のアオリイカは、現在のところ漁獲量はそれほど多くはないですが、サイズが大きい傾向で、これからの産卵期に多くの卵を産むことを期待したいところです。



- 5月14日、小田原漁港にて「小田原あじ・地魚まつり2017」が開催されました。当日は天候が良く、2万4千人もの方々が来場し、小田原市漁協が販売した「ムギイカの煮付け」、「イワシ・イサキのさつまあげ」、「サザエの壺焼き」は屋前には完売し、朝獲れ鮮魚の直売も沢山の人が行列を作り買い求めていました。

- 5月14日、しらす協議会は、「小田原あじ・地魚まつり 2017」で、湘南しらす製品を販売しました。当日は、江の島片瀬漁協の湘南丸さんが、釜揚げしらすやしらすの沖漬け、たたみいわし製品を用意し、釜揚げしらすの試食を提供しながらPR販売し、昼前には好評の内に完売しました。



しらす協議会の出店コーナー

- 5月15日、鹿児島県の指宿漁協岩本女性部の皆さんが茹でヒジキの加工・流通についての視察で横須賀市大楠漁協の山茂丸さんを訪問しました。山茂丸さんからヒジキの茹で加工のコツや販売方法等について説明があり、指宿漁協岩本女性部の皆さんから活発な質問がありました。